

# オフィスまるごとサポートデバイスマネジメント Android Enterprise マニュアル

最終更新日 2018 年 9 月 14 日

株式会社オプティム  
(c)東日本電信電話株式会社

<b>1</b>	<b><u>はじめに</u></b> .....	<b><u>3</u></b>
1.1	Android Enterprise とは .....	4
1.2	機能概要 .....	4
1.3	管理サイト動作環境 .....	5
1.4	エージェント動作環境 .....	5
1.5	本マニュアルの見かた .....	5
1.5.1	表記や画面について .....	5
1.5.2	Web サイトの URL について .....	5
1.5.3	商標について .....	5
1.6	用語集 .....	6
<b>2</b>	<b><u>オフィスまるごとサポートデバイスマネジメントーGoogle 間の連携設定</u></b> .....	<b><u>7</u></b>
2.1	Google アカウントの場合 .....	8
2.1.1	アカウント登録 .....	8
2.1.2	アカウント削除 .....	12
2.1.3	アカウント再登録 .....	13
2.2	G Suite アカウントの場合 .....	14
2.2.1	トークンを発行する .....	14
2.2.2	アカウント登録 .....	17
2.2.3	アカウント削除 .....	19
2.2.4	ユーザーにメールアドレスを登録する .....	20
<b>3</b>	<b><u>ストア版 Android エージェント</u></b> .....	<b><u>21</u></b>
3.1	ストア版 Android エージェントについて .....	22
3.2	端末のキッティング .....	23
3.3	端末初期化 .....	30
<b>4</b>	<b><u>セキュリティ設定変更</u></b> .....	<b><u>32</u></b>
4.1	セキュリティ設定 .....	33
4.2	セキュリティ設定の入力値 .....	34
<b>5</b>	<b><u>Android Enterprise によるアプリ配信</u></b> .....	<b><u>35</u></b>
5.1	個別アプリケーション .....	36
5.2	全体アプリケーション権限 .....	40
5.2.1	デフォルトのアプリ権限による端末の挙動 .....	40
5.3	アプリケーション配信 .....	41
5.3.1	企業許可アプリのみインストール可能の場合 .....	42
5.3.2	指定アプリのみインストール可能の場合 .....	43
5.3.3	強制(サイレント)インストールしたアプリの強制(サイレント)アンインストール .....	44
5.4	組織またはユーザーに割り当て .....	45
5.4.1	managed Google Play Account とは .....	45
5.4.2	組織に割り当てる場合 .....	46
5.4.3	ユーザーに割り当てる場合 .....	47
5.4.4	機器に同期 .....	48
<b>6</b>	<b><u>managed Google Play store の利用</u></b> .....	<b><u>50</u></b>
6.1	アプリの強制(サイレント)インストール .....	51
6.2	managed Google Play store の表示 .....	52
<b>7</b>	<b><u>連携アプリの利用</u></b> .....	<b><u>53</u></b>

# 1 はじめに

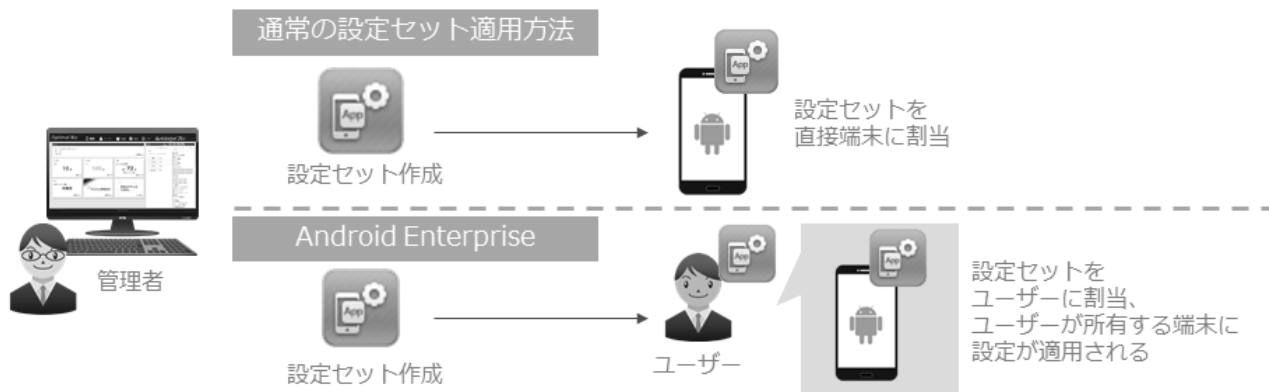
Android Enterprise をご利用いただく為の設定、機能を説明します。

## 1.1 Android Enterprise とは

Android Enterprise とは、端末やアプリを従業員に配備し、企業データを安全に保つために Google が提供している法人向けプログラムです。

Android Enterprise で利用できる主な機能のうち、オフィスまるごとサポートデバイスマネジメントではこのうち Work-managed device に対応しました。

Android Enterprise における Work-managed device の機能を追加することにより、社用端末をより強固なセキュリティで保護しつつ、端末のキッティング、Google Play store アプリのサイレントインストールといった業務が効率的に行えます。また、従来のオフィスまるごとサポートデバイスマネジメントでは作成した設定セットは、端末に割り当てていましたが、Android Enterprise でのアプリ配信は、ユーザーに設定セットを割り当て、ユーザーが所有する端末へ許可したアプリが公開され配信されます。



## 1.2 機能概要

Android Enterprise アカウント登録することで、以下の機能が利用できます。

	機能	詳細
1	afw 識別子または G Suite アカウントを使った自動プロビジョニングによる Device Owner Mode(DOM)化	afw 識別子または G Suite アカウントを使った自動プロビジョニングによる DOM 化をすることで、エージェントのアンインストール抑止や、より強固なセキュリティ設定およびアプリ配信が可能です。
2	セキュリティ設定	開発者向けオプションの制限、提供元不明アプリのインストール制限等が可能です。Android Enterprise を使う場合は、一部機能がデフォルトで制限されます。管理者が後から設定を変えることもできます。
3	Google Play store を企業専用に構築	ユーザーに利用を許可するアプリを管理者から指定でき、企業専用の Google Play store を構築します。表示させるアプリケーションは組織やユーザーごとに設定できます。
4	store アプリへの設定	store アプリで実行する権限(ランタイムパーミッション)のデフォルト動作を設定できます。また、store アプリごとに固有の設定(Android Enterprise 向けに用意されている)もオフィスまるごとサポートデバイスマネジメントから設定可能です。例えば Gmail の場合、オフィスまるごとサポートデバイスマネジメントに登録されているユーザーのメールアドレスを、Gmail アプリに自動で設定することができます。
5	store アプリのサイレントインストール/アンインストール	store アプリのサイレントインストール、アンインストールを実現します。

※3～5の機能を利用するには、1のafw識別子またはG Suiteアカウントを使った自動プロビジョニングによる Device Owner Mode(DOM)化がされていることが前提です。2は Device Owner Mode(DOM)化されていれば利用可能です。

## 1.3 管理サイト動作環境

対応ブラウザ	Internet Explorer 9、Internet Explorer 10、Internet Explorer 11、Firefox、Google Chrome ※Firefox、Google Chrome は最新版のみ対応。 ※横 960 ピクセル以上の表示を推奨します。 ※対応ブラウザのインストール方法や設定等、また OS に依存する設定に関しては対応いたしかねます。
ネットワーク接続	インターネットへ接続可能なこと。 直接またはプロキシを介して管理サイトと HTTPS 通信(443 番ポート) ができること。
対応言語	日本語／英語

## 1.4 エージェント動作環境

端末	Android 6.0～8.1 「afw 識別子または G Suite アカウントによる自動プロビジョニング」による Device Owner Mode 化対応
本体メモリ	10MB 以上の空き容量
SD カード	5MB 以上の空き容量(ダウンロードしたインストーラーを SD カードに保存する場合)
ネットワーク接続	3G/LTE または Wi-Fi でインターネットへアクセスができること。直接またはプロキシを介して管理サイトと HTTPS 通信(443 番ポート) ができること。

## 1.5 本マニュアルの見かた

### 1.5.1 表記や画面について

- ・ ボタン名、リンク名、タブ名などは[]で表記します。
- ・ 画面上のバージョン表記は実際のものとは異なる場合があります。
- ・ Android 端末の機種や OS のバージョンにより画面、操作が異なる場合があります。

### 1.5.2 Web サイトの URL について

マニュアルの説明で記載している弊社以外の Web サイトの URL は、予告なく変更される場合があります。あらかじめご了承ください。

### 1.5.3 商標について

- ・ 記載の会社名および製品名は、各社の登録商標および商標です。

## 1.6 用語集

用語	意味
Android Enterprise	Android のビジネス向けプログラムのことです。2016 年 12 月までは Android for Work と呼ばれていましたが、Google が名称を変更しました。 参考: <a href="https://support.google.com/work/android/answer/7218437?hl=en">https://support.google.com/work/android/answer/7218437?hl=en</a>
managed Google Play store	企業向けの Google Play store のことです。一般に公開されているアプリの他、企業が個別にオリジナルアプリを公開することもできます。 Android Enterprise を利用する場合は、提供元不明アプリがデフォルトで禁止されるため、アプリのインストールは原則、managed Google Play store 経由となります。 managed Google Play store を経由しないアプリのインストールは、Google の規約にて禁止されています。
managed Google Play store Account	Android Enterprise アカウント登録を行い、オフィスまるごとサポートデバイスマネジメント上で機器とユーザーを紐付けると自動的に作成・端末へ紐づけられるアカウントです。このアカウントに対してアプリケーションが配信されます。
Device Owner Mode(DOM)	Android 5.0 より Google が提供を開始した、端末管理製品(オフィスまるごとサポートデバイスマネジメントなど)からより強固な設定を端末へ行うための特別なモードです。 オフィスまるごとサポートデバイスマネジメントのエージェントを DOM にするためには、端末を初期化する必要があるため、DOM の機能を利用する可能性があるのであれば、必ず最初に DOM 化してキッティングを行ってください。 一部、端末によっては DOM に対応していない場合がございます。事前にお確かめください。
QR コードによる DOM 化	端末の初期キッティング時に特定の QR コードを読み込むことで、オフィスまるごとサポートデバイスマネジメントのエージェントを DOM 化するキッティング方法です。 Android 7.0 以降に対応しております。
NFC バンプによる DOM 化	端末の初期キッティング時に NFC を使って、オフィスまるごとサポートデバイスマネジメントのエージェントを DOM 化するキッティング方法です。 Android 6.0 以降に対応しております。NFC の使用ができるか否かは端末によりますのでご注意ください。
afw 識別子または G Suite アカウントを使った自動プロビジョニング	端末の初期キッティング時にメールアドレス欄へ「afw#ntte_oms」または G Suite アカウントを入れることで Google Play 上のオフィスまるごとサポートデバイスマネジメントエージェントを DOM 化した状態でインストールし、なおかつユーザーと機器情報の紐づけ(プロビジョニング)までを行います。 Android 6.0 以降に対応しています。
従来版 Android エージェント	<a href="https://mdm.sdm.ntt-east.net/a">https://mdm.sdm.ntt-east.net/a</a> より apk をダウンロードできるエージェントのことです。従来、オフィスまるごとサポートデバイスマネジメントはこのエージェントインストール方法のみご用意しておりました。
ストア版 Android エージェント	Google Play、afw 識別子、G Suite アカウントのいずれかによる自動プロビジョニングにてインストール可能なエージェントです。v9.2.0 のバージョンアップより公開いたします。従来版への上書きインストールはできません。
work-managed device solution set	企業所有のデバイス向けに設計された機能のことです。この機能を使うと、管理者はデバイス全体を管理でき、より強固なポリシー制御を実現します。
データ保護責任者	(任命が義務付けられている国において) GDPR の遵守を促進する責務を担う人物です。データ保護責任者を指名する際の基準や条件は、GDPR で定められています。 参考: <a href="https://support.google.com/googleplay/work/answer/7681629">https://support.google.com/googleplay/work/answer/7681629</a>
EU 担当者	EU に拠点のない顧客が GDPR を遵守するため、(任命が義務付けられている国において) その担当者として指名された人物です。 参考: <a href="https://support.google.com/googleplay/work/answer/7681629">https://support.google.com/googleplay/work/answer/7681629</a>

## 2 オフィスまるごとサポートデバイスマネジメント —Google 間の連携設定

オフィスまるごとサポートデバイスマネジメントと Google との連携設定を行います。Android Enterprise の連携設定を行っていない Google アカウント、または G Suite アカウントが必要です。

本設定を行うことにより、各 Android Enterprise が利用可能となります。

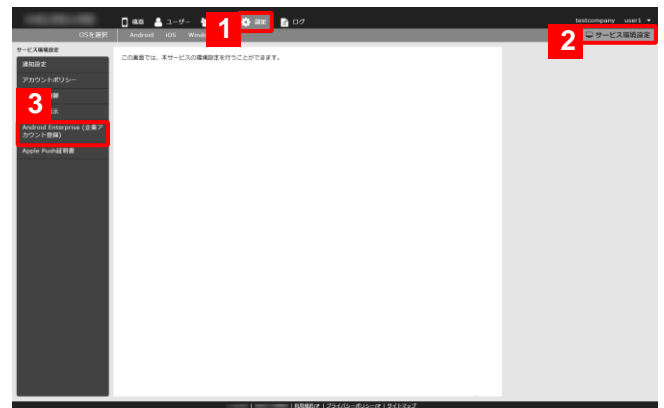
## 2.1 Google アカウントの場合

### 2.1.1 アカウント登録

1

管理サイトのダッシュボードを表示します。

1. [設定]をクリックします。
2. [サービス環境設定]をクリックします。
3. [Android Enterprise(企業アカウント登録)]をクリックします。

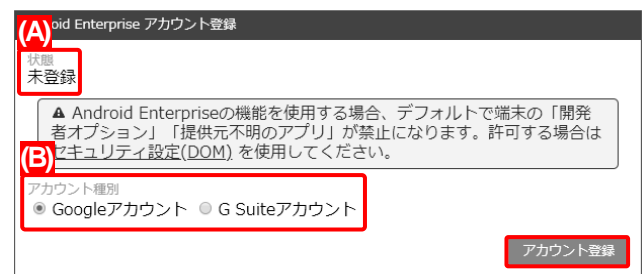


2

状態(A)は未登録と表示されています。

アカウント種別(B)の初期値は、「Google アカウント」が選択されています。

[アカウント登録]をクリックします。



※アカウント登録が完了すると、管理中の Device Owner Mode 化した端末および新規に Device Owner Mode 化した端末、または Android Enterprise で登録する端末は、デフォルトで「開発者オプション」「提供元不明アプリ」が禁止になります。デフォルトの状態では、Device Owner Mode 化した端末で App Manager の利用ができないので、App Manager を利用するには、「セキュリティ設定」33 ページで「提供元不明アプリ」を「許可」とした設定セットを作成し、機器に割り当てて同期を行ってください。

なお Android Enterprise で登録した端末では、App Manager を利用できないので、各種連携アプリは「Android Enterprise によるアプリ配信」35 ページから配信してください。

3

Google Play に遷移します。

[ログイン]をクリックします。

※ご利用のブラウザにより、Google Play が正常に動作しない場合がありますので、ご了承ください。





4

企業用アカウントとして、新たに Google アカウントを作成します。

1. Google アカウントを入力します。
2. [次へ]をクリックします。



Google

ログイン

お客様の Google アカウントを使用

1 メールアドレスまたは電話番号

メールアドレスを忘れた場合

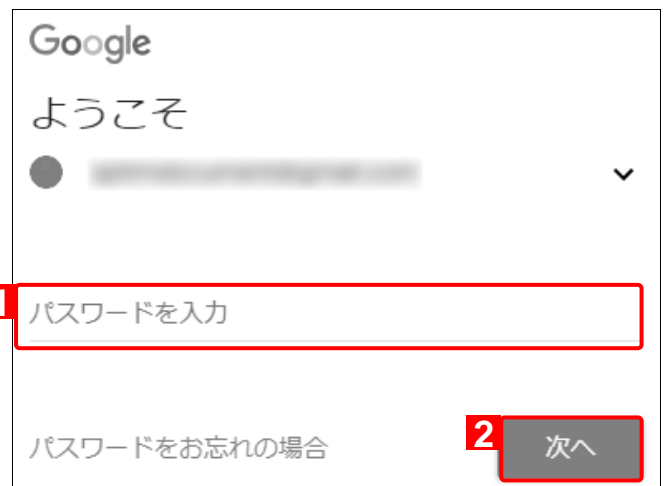
ご自分のパソコンでない場合は、ゲストモードを使用して非公開でログインしてください。ヘルプ

アカウントを作成

2 次へ

5

1. パスワードを入力します。
2. [次へ]をクリックします。



Google

ようこそ

● [ユーザー名] ▼

1 パスワードを入力

パスワードをお忘れの場合

2 次へ

6

[完了]をクリックします。

Google

## アカウントの保護

パスワードを忘れてしまったり、アカウントにアクセスできなくなったり、アカウントで不審なアクティビティが検出されたりした場合に Google から連絡を受け取る方法を設定します

予備の電話番号  
電話番号がありません

再設定用のメールアドレス  
再設定用のメールアドレスがありません

更新 完了

7

[スタートガイド]をクリックします。



8

1. 企業名または組織名を入力します。
2. [次へ]をクリックします。

## 企業 / 組織名

ビジネスの詳細情報を入力してください

1 企業 / 組織名

回答

企業向けモバイル管理 (EMM) プロバイダ

2 次へ

9

1. 規約を確認し、同意します。
2. [確認]をクリックします。

※データの保護責任者および EU 担当者(A)は、任意入力です。必要に応じて入力します。

データの保護責任者、EU 担当者については、「用語集」6 ページを参照してください。

10

[登録を完了]をクリックします。

11

管理サイトに戻り、状態(A)は登録済と表示されます。

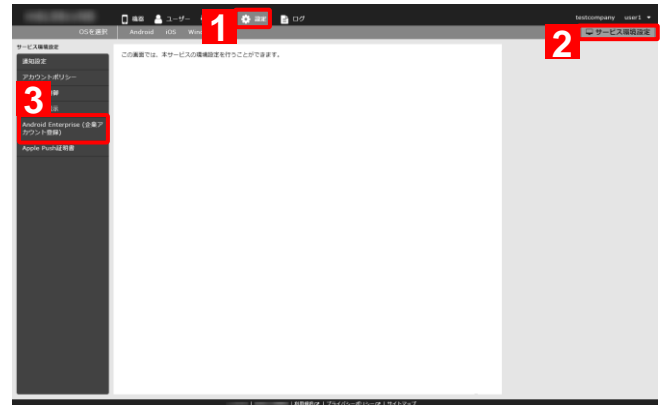
アカウントメールアドレス(B)に Google Play に登録したメールアドレスが表示されます。

## 2.1.2 アカウント削除

1

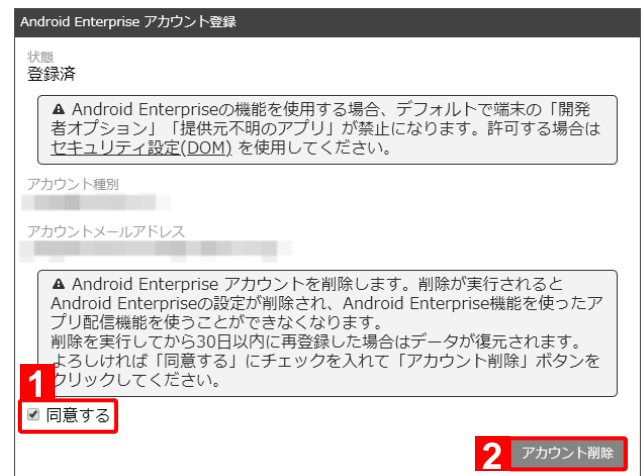
管理サイトのダッシュボードを表示します。

1. [設定]をクリックします。
2. [サービス環境設定]をクリックします。
3. [Android Enterprise (企業アカウント登録)]をクリックします。



2

1. 「同意する」にチェックを入れます。
2. [アカウント削除]をクリックします。



3

[状態](A)は未登録(復元データあり)と表示されます。

《同じアカウントを再登録する場合》

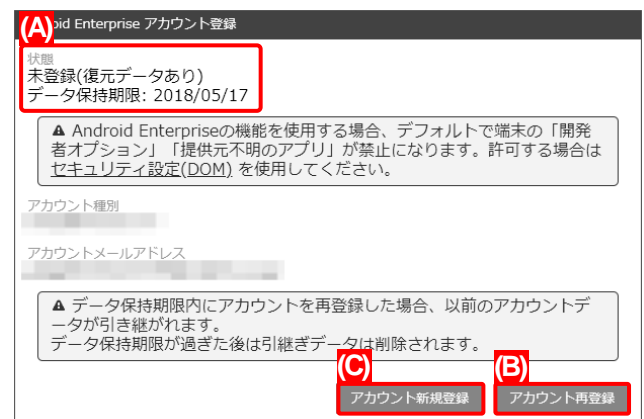
[アカウント再登録](B)をクリックします。

※「アカウント再登録」13 ページを参照してください。

《別のアカウントを登録する場合》

[アカウント新規登録](C)をクリックします。

※「アカウント登録」8 ページを参照してください。

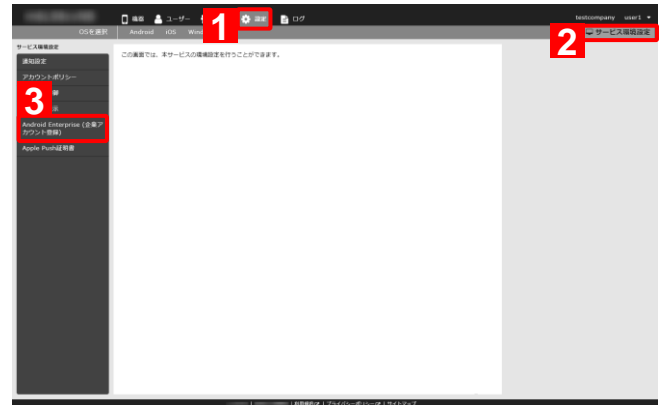


### 2.1.3 アカウント再登録

1

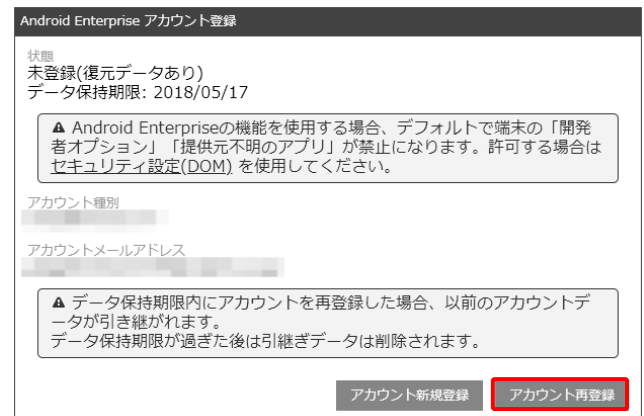
管理サイトのダッシュボードを表示します。

1. [設定]をクリックします。
2. [サービス環境設定]をクリックします。
3. [Android Enterprise (企業アカウント登録)]をクリックします。



2

[アカウント再登録]をクリックします。



3

Google Play に遷移します。

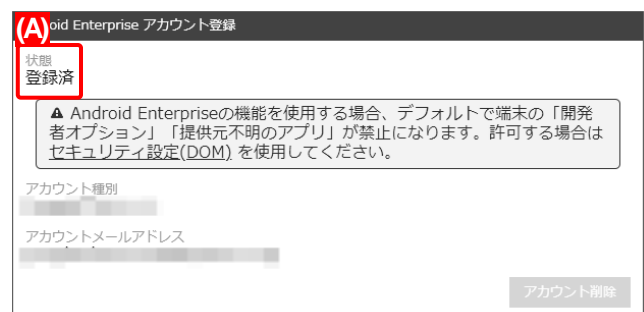
[再登録]をクリックします。

※ご利用のブラウザにより、Google Play が正常に動作しない場合がありますので、ご了承ください。



4

管理サイトに戻り、状態(A)は登録済と表示されます。



## 2.2 G Suite アカウントの場合

G Suite アカウントを登録する場合は、Google 管理コンソール上での設定を行い、トークンを発行してください。

※事前に G Suite のご契約が必要になります。

※G Suite アカウントで連携を行うと、強制(サイレント)インストールが実行できない場合があります。

その場合は managed Google Play store の利用規約の同意が必要です。<https://play.google.com/work/termsofservice> に G Suite の特権管理者で Google にログインして、承諾してください。

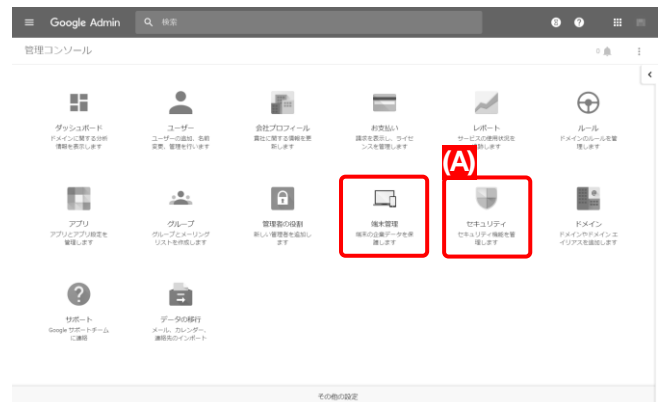
強制(サイレント)インストールの詳細は「指定アプリのみインストール可能の場合」(43 ページ)、「アプリの強制(サイレント)インストール」(51 ページ)を参照してください。

### 2.2.1 トークンを発行する

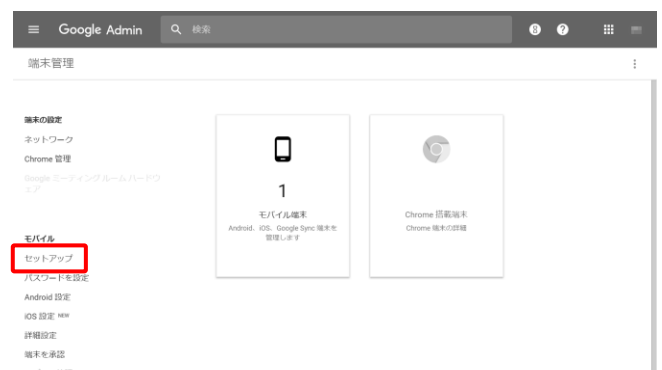
1 <https://admin.google.com> にアクセスして、Google 管理コンソールを表示します。

[端末管理]をクリックします。

※ [セキュリティ](A)に「Android 向けの EMM プロバイダ管理」が表示されている場合は、手順 1 から手順 7 は不要です。



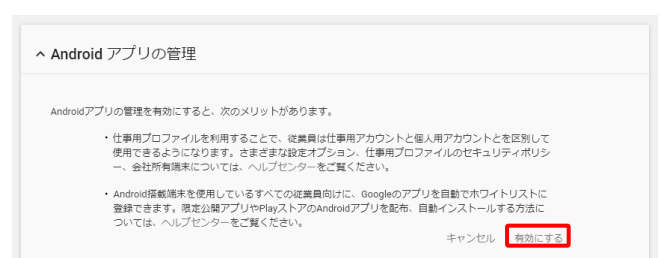
2 [セットアップ]をクリックします。



3 「Android アプリの管理」の[Android アプリの管理を有効にする]をクリックします。



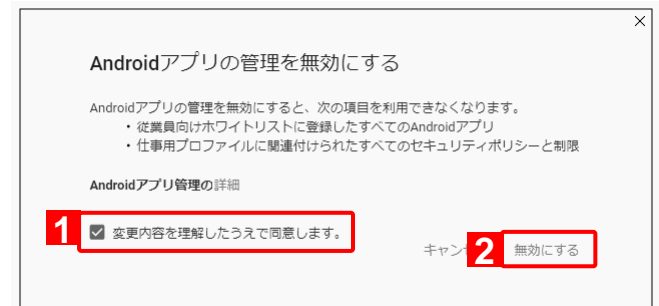
4 [有効にする]をクリックします。



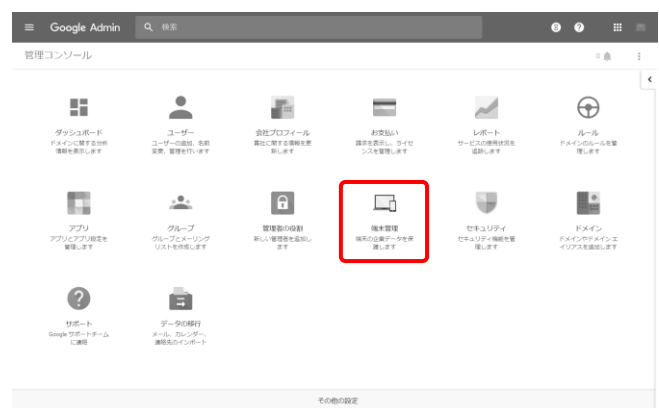
5 [削除]をクリックします。



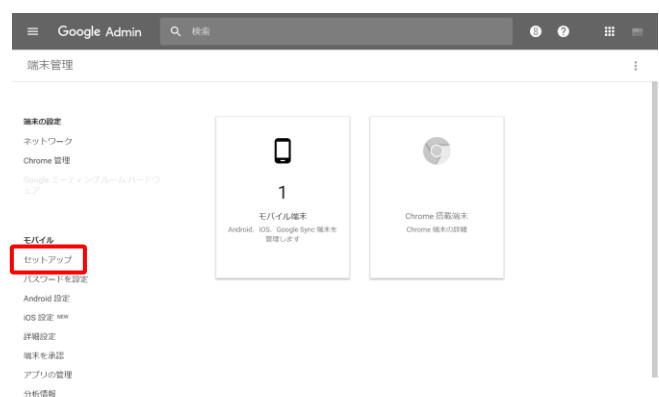
6 1. 「変更内容を理解したうえで同意します。」にチェックを入れます。  
2. [無効にする]をクリックします。



7 [端末管理]をクリックします。



8 [セットアップ]をクリックします。

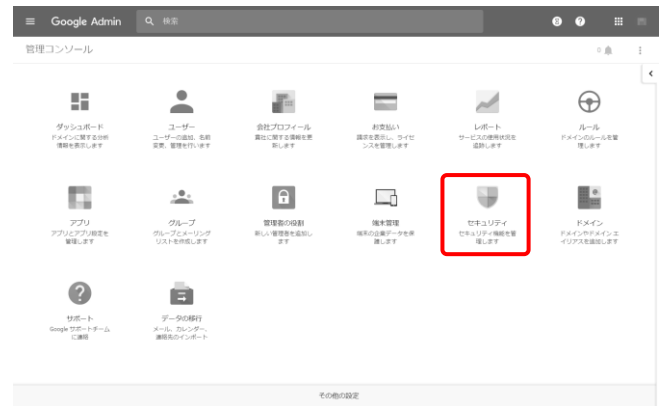


9 1. 「モバイル管理」の[モバイル管理の有効化]を無効化にします。  
2. [保存]をクリックします。



10

[セキュリティ]をクリックします。



11

「Android 向けの EMM プロバイダ管理」の[トークン生成]をクリックします。



12

トークンが表示されます。  
アカウント登録が必要になりますので、メモしてください。





## 2.2.2 アカウント登録

※G Suite アカウントを登録後は、G Suite 側の設定変更は行わないでください。

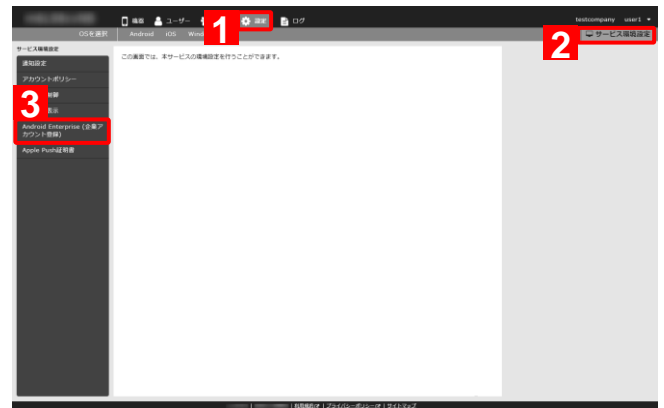
※G Suite 標準の「モバイル管理機能」を使っていた場合は、モバイル管理機能の「端末」情報を削除してください。

※G Suite アカウントを登録した場合は、機器には必ずユーザーを紐づけてください。詳細は「組織またはユーザーに割り当て」45 ページを参照してください。

1

管理サイトのダッシュボードを表示します。

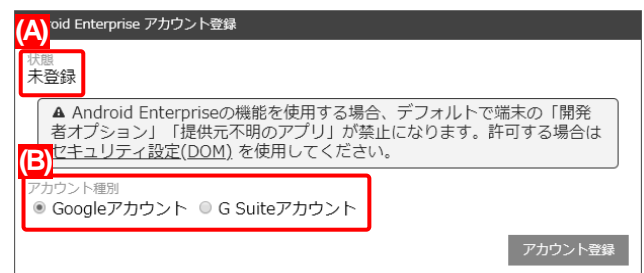
1. [設定]をクリックします。
2. [サービス環境設定]をクリックします。
3. [Android Enterprise(企業アカウント登録)]をクリックします。



2

状態(A)は未登録と表示されています。

アカウント種別(B)の初期値は、「Google アカウント」が選択されています。

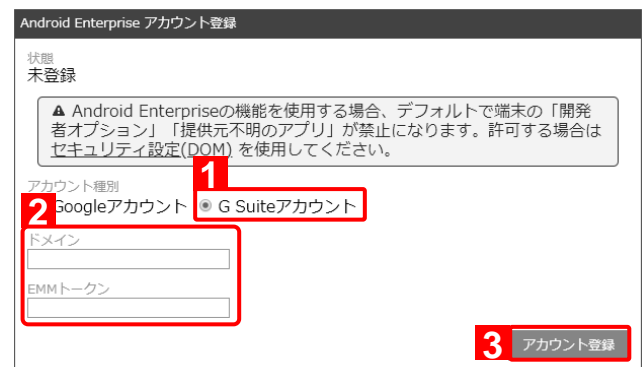


3

1. 「G Suite アカウント」を選択します。
2. ドメイン、EMM トークンを入力します。
3. [アカウント登録]をクリックします。

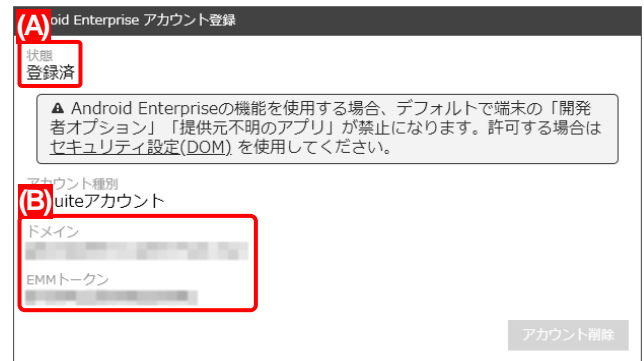
※アカウント登録が完了すると、管理中の Device Owner Mode 化した端末および新規に Device Owner Mode 化した端末、または Android Enterprise で登録する端末は、デフォルトで「開発者オプション」「提供元不明アプリ」が禁止になります。デフォルトの状態では、Device Owner Mode 化した端末で App Manager の利用ができないので、App Manager を利用するには、「セキュリティ設定」33 ページで「提供元不明アプリ」を「許可」とした設定セットを作成し、機器に割り当てて同期を行ってください。

なお Android Enterprise で登録した端末では、App Manager を利用できないので、各種連携アプリは「Android Enterprise によるアプリ配信」35 ページから配信してください。



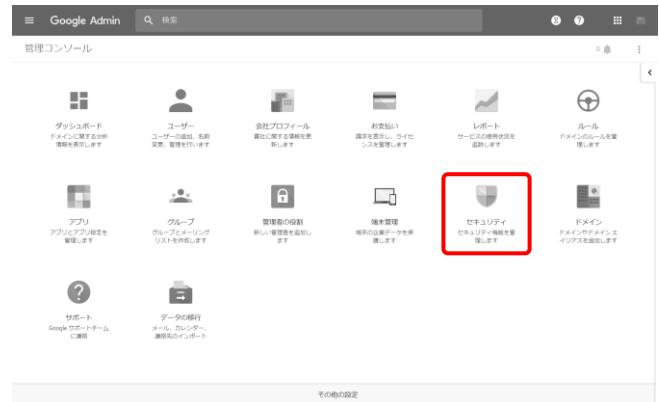
4

状態(A)は登録済と表示されます。  
(B)にドメイン、EMM トークンが表示されます。



5

管理サイトで G Suite アカウントの登録が完了したら、<https://admin.google.com> にアクセスして、Google 管理コンソールを表示します。  
[セキュリティ]をクリックします。



6

1. 全般設定の「Android 端末で企業向けモバイル管理(EMM)ポリシーを適用します」にチェックを入れます。
2. [保存]をクリックします。

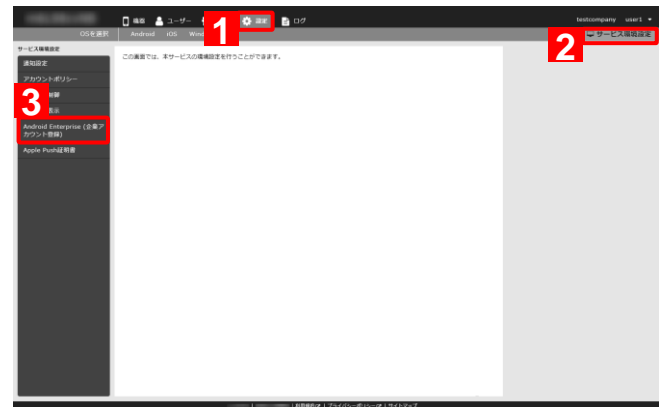


## 2.2.3 アカウント削除

1

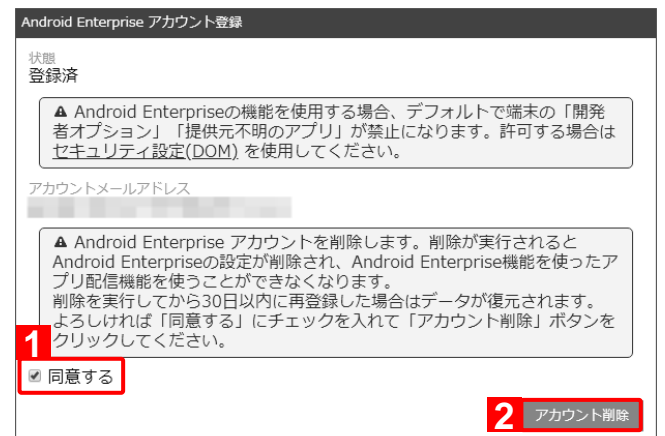
管理サイトのダッシュボードを表示します。

1. [設定]をクリックします。
2. [サービス環境設定]をクリックします。
3. [Android Enterprise(企業アカウント登録)]をクリックします。



2

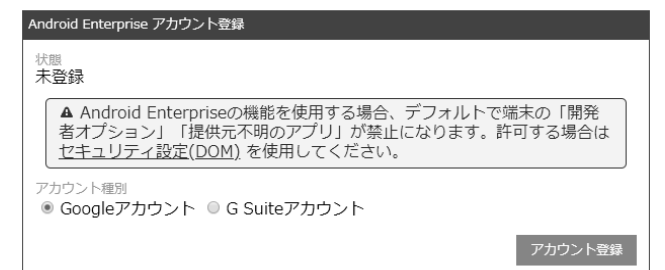
1. 「同意する」にチェックを入れます。
2. [アカウント削除]をクリックします。



3

アカウント登録の初期画面が表示されます。

※再びアカウントを登録する場合は、「アカウント登録」17 ページを参照してください。




## 2.2.4 ユーザーにメールアドレスを登録する

オフィスまるごとサポートデバイスマネジメント管理サイトのユーザーのメールアドレスをG Suiteに設定されているユーザーアカウントのメールアドレスと同じにしてください。

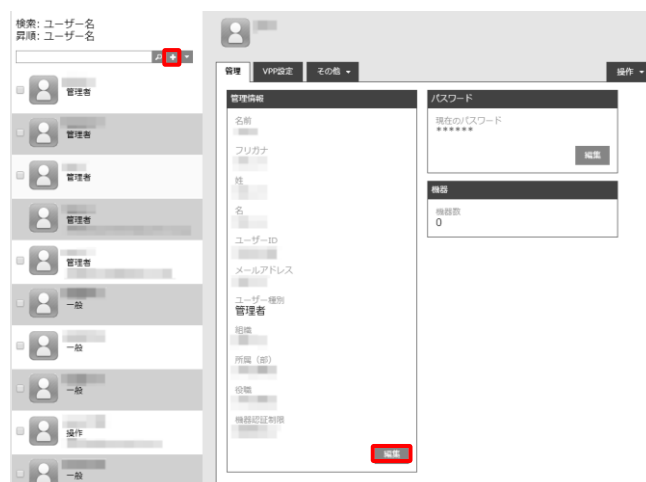
**1** ダッシュボードの[ユーザー]を選択します。

《新規でユーザを登録する場合》

[新規作成]  をクリックします。

《既にユーザが登録されている場合》

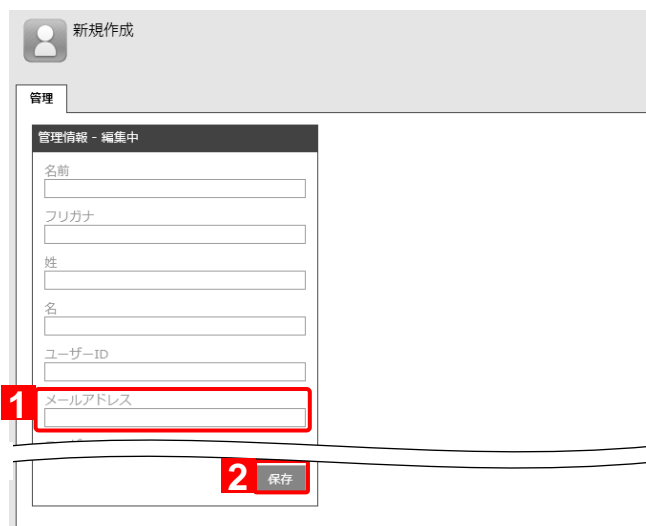
対象のユーザーを表示して、[編集]をクリックします。



**2** 1. メールにアドレスにG Suiteに設定されているユーザーアカウントのメールアドレスを入力します。

※その他の項目は、必要に応じてを入力、編集をしてください。

2. [保存]をクリックします。



## 3 ストア版 Android エージェント

Android Enterprise を利用する場合は、Android 6.0 以上の端末を「afw 識別子または G Suite アカウントによる自動プロビジョニング」という方法で、ストア版 Android エージェントによる Device Owner Mode 化を行ってください。

### 3.1 ストア版 Android エージェントについて

Android エージェントの従来版とストア版の違いは以下の通りです。

Android エージェント	従来版	ストア版
入手方法	<a href="https://mdm.sdm.ntt-east.net/a">https://mdm.sdm.ntt-east.net/a</a> より もしくは Device Owner Mode 化	afw 識別子または G Suite アカウントによるプロビジョニング
Android Enterprise 利用方法	無し(利用不可)	afw 識別子または G Suite アカウントによるプロビジョニング
Device Owner Mode 化 方法	QR コードもしくは NFC によるキ ットティング	afw 識別子または G Suite アカウントによるプロビジョニング
エージェント アップデート方法	手動、AppManager、管理者より配 信のいずれか	《managed Google Play を利用していない場合》 Google Play からユーザー任意で実施 《managed Google Play を利用している場合》 managed Google Play からユーザー任意で実施、管理者よ り managed Google Play を用いた配信のいずれか(どちら の場合でも、エージェントアプリの承認が必要です。)
リモートロック方法	オフィスまるごとサポートデバイ スマネジメント独自画面ロック	オフィスまるごとサポートデバイスマネジメント独自画面ロ ック

※Android Enterprise を利用する場合は、ストア版 Android エージェントでの「afw 識別子または G Suite アカウントによる自  
動プロビジョニング」による Device Owner Mode 化を行ってください。(「端末のキットティング」23 ページ参照)

※従来版から Android Enterprise による運用へ切り替える場合、端末初期化及び「afw 識別子または G Suite アカウントによる  
自動プロビジョニング」による Device Owner Mode 化を行ってください。(「端末のキットティング」23 ページ参照)

※Android Enterprise は Android 6.0 以上の端末でご利用可能ですが、「afw 識別子または G Suite アカウントによる自動プロ  
ビジョニング」による Device Owner Mode 化に対応していることが前提です。端末によっては、Device Owner Mode 化に  
対応していませんので、事前にご確認ください。

※利用企業の AppManager が ON であっても、ストア版エージェントの場合は AppManager は表示されず、通知もされませ  
ん。

※「オフィスまるごとサポートデバイスマネジメントーGoogle 間の連携設定」7 ページでの設定により、端末キットティングす  
る際の手順で以下の対応が必要になります。

- ・ Google アカウントを設定した場合、Google アカウント入力画面で afw#ntte\_oms を入力する。
- ・ G Suite アカウントを設定した場合、Google アカウント入力画面で G Suite アカウントを入力する。

## 3.2 端末のキッティング

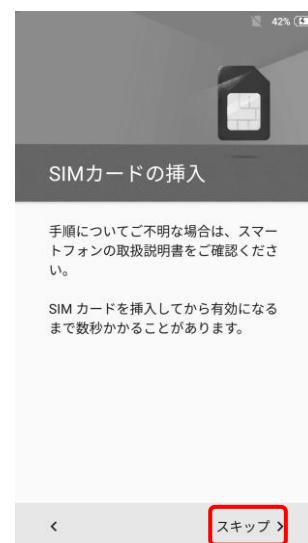
Android 6.0 以上の端末を工場出荷時状態から、ストア版 Android エージェントを「afw 識別子または G Suite アカウントによる自動プロビジョニング」で Device Owner Mode 化します。

※Device Owner Mode 化すると、端末の初回キッティングフローが通常と異なり、プリインストールされるアプリケーションがインストールされていない場合がありますので、Google Play store またはご利用の端末にインストールされているアプリ管理マネージャーから、手動でインストールしてください。

1 [始める]をタップします。



2 [スキップ]をタップします。  
※既に SIM カードが挿入されている場合は、この画面は表示されません。



3 [新規としてセットアップ]をタップします。



4 [セットアップ時にモバイルネットワークを使用する]をタップするか、接続したい Wi-Fi の SSID をタップして Wi-Fi 接続を行ってください。

《SIM なしの場合》

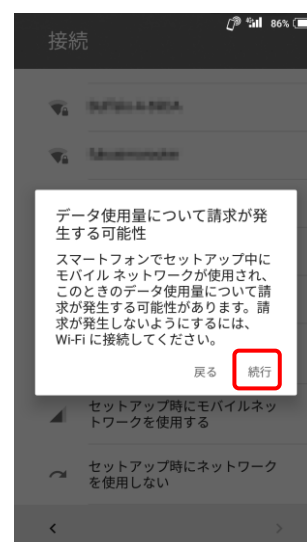
[セットアップ時にモバイルネットワークを使用する]が表示されませんので、Wi-Fi 接続を行ってください。



5 《モバイルネットワークを使用した場合》  
画像のようにポップアップが表示されますので、[続行]をタップします。

《Wi-Fi 接続を使用した場合》

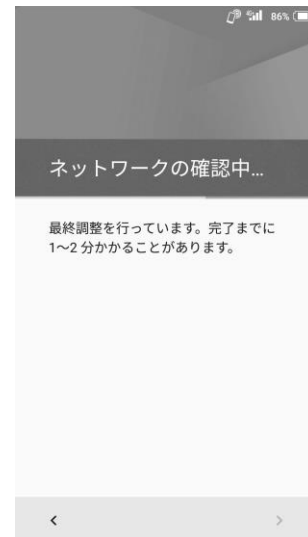
そのまま、次の手順に進みます。





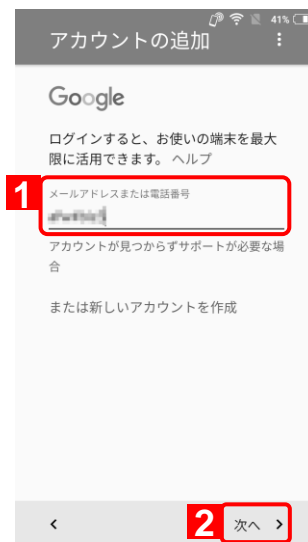
6

ネットワーク接続が開始されます。



7

1. メールアドレスまたは電話番号に afw#ntte\_oms と入力するか、G Suite アカウントを入力します。
2. [次へ]をタップします。



8

《afw#ntte\_oms の場合》  
[次へ]をタップします。



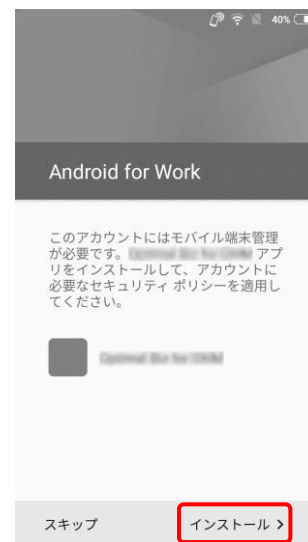
《G Suite アカウントの場合》

1. パスワードを入力します。
2. [次へ]をタップします。
3. [同意する]をタップします。



9

オフィスまるごとサポートデバイスマネジメントをインストールします。  
[インストール]をタップします。



10

オフィスまるごとサポートデバイスマネジメントをインストールします。  
[インストール]をタップします。



11

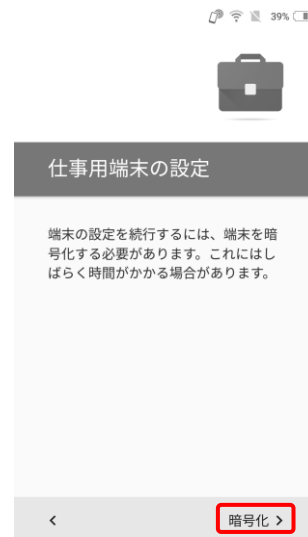
《Android 6.0 の場合》

[暗号化]をタップします。

画面の指示に従い、暗号化を行ってください。暗号化が完了すると、端末は再起動します。

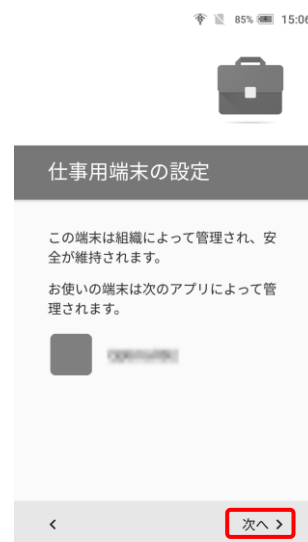
再起動後、ネットワーク接続画面が表示されますので、ご利用のネットワークを選択してください。

※暗号化しないと、ストア版 Android エージェントは、正常にインストールできません。



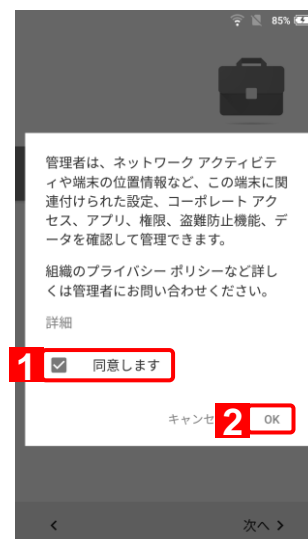
12

[次へ]をタップします。

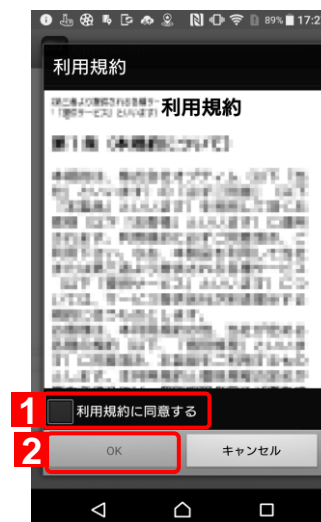


13

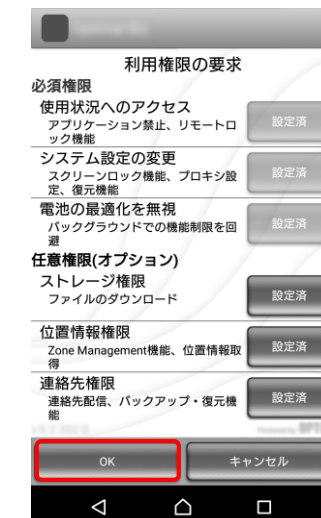
1. 同意しますにチェックを入れます。
2. [OK]をタップします。



- 14
1. 「利用規約に同意する」にチェックを入れます。
  2. [OK]をタップします。

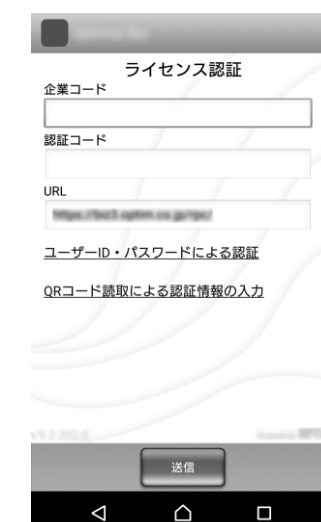


- 15
- 権限を要求する画面が表示されます。画面の案内に従って設定を行ってください。  
[OK]をタップします。



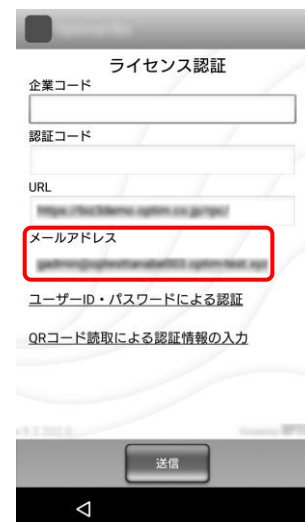
- 16
- ライセンス認証画面が表示されます。  
※ライセンス認証については、「Android ユーザーマニュアル」を参照してください

《afw#ntte\_oms の場合》



《G Suite アカウントの場合》

手順 7 で入力した G Suite アカウントがメールアドレスに表示されます。



17 ライセンス認証完了後の画面が表示されます。  
[OK]をタップします。



18 「afw 識別子または G Suite アカウントによる自動プロビジョニング」による Device Owner Mode 化が完了し、オフィスまるごとサポートデバイスマネジメントストア版 Android エージェントのメニュー画面が表示されます。

※ライセンス認証後、Android Enterprise を利用すると、ライセンス解除はできないので、「端末初期化」(30 ページ)を行ってください。

※ライセンス認証後、オフィスまるごとサポートデバイスマネジメント管理サイトで初回同期が完了するまでは、エージェント画面をユーザーが操作することはできません。



### 3.3 端末初期化

Android Enterprise を利用の際はライセンス解除、エージェントのアンインストールはできません。

ユーザーの情報が端末上に残ることで発生し得るデータ漏洩を防止する仕様のため、端末の初期化を行ってください。

1

[終了]をタップします。

※エージェント起動中は端末初期化できません。



2

1. パスワードを入力します。

※パスワードは管理者にお問い合わせください。

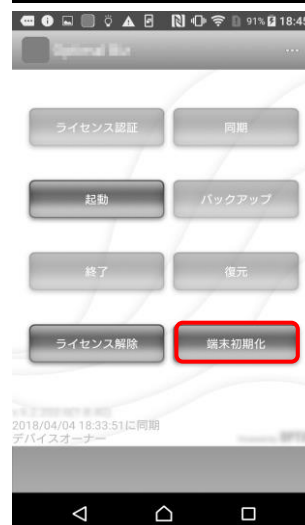
※管理サイトでの設定によりパスワード入力が不要な場合  
もあります。

2. [OK]をタップします。



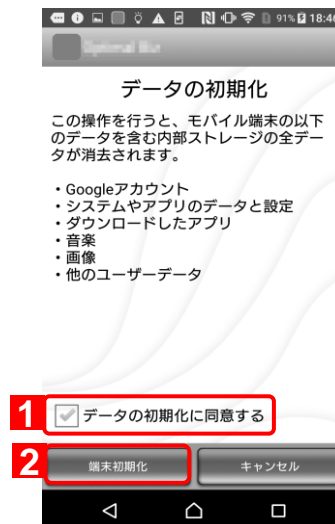
3

[端末初期化]をタップします。



4

1. 「データの初期化に同意する」にチェックを入れます。
2. [端末初期化]をタップします。



5

端末初期化が開始されます。しばらくお待ちください。

※初期化が完了し、工場出荷時状態の画面が表示されたら、改めて「端末のキッティング」(23 ページ)を行ってください。

## 4 セキュリティ設定変更

Android Enterprise を利用する場合、デフォルトで端末の「開発者オプション」や「提供元不明のアプリ」が禁止になっています。許可する場合は、セキュリティ設定で変更します。



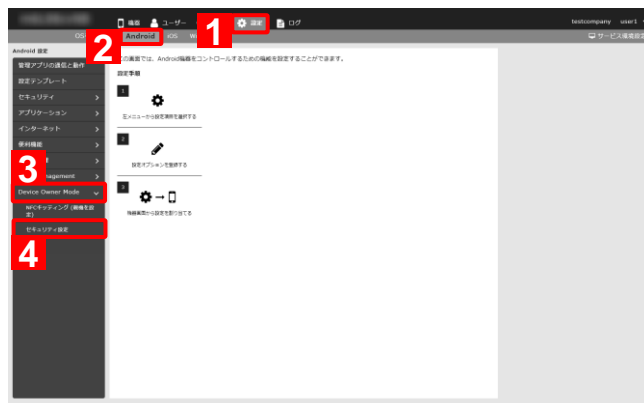
## 4.1 セキュリティ設定

セキュリティ設定を変更するための設定セットを作成します。


1

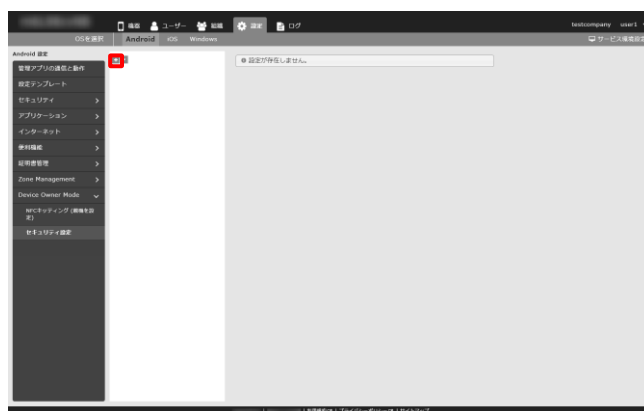
管理サイトのダッシュボードを表示します。

1. [設定]をクリックします。
2. [Android]をクリックします。
3. [Device Owner Mode]をクリックします。
4. [セキュリティ設定]をクリックします。



2

[新規作成]  をクリックします。

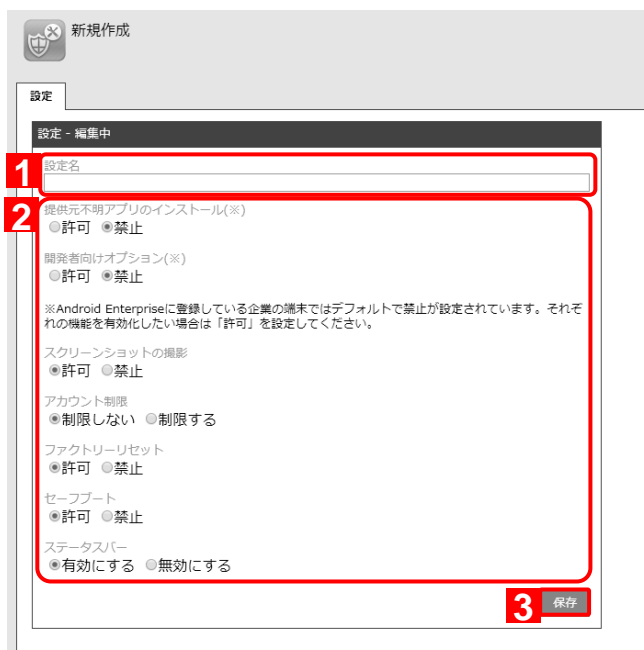


3

1. 設定名を入力します。
2. 各セキュリティ設定を選択します。
3. [保存]をクリックします

※作成した設定セットを機器に割り当てます。

詳細は「管理サイト リファレンス マニュアル」の「機器」－「一覧」－「機器の設定」を参照してください。



## 4.2 セキュリティ設定の入力値

セキュリティ設定では以下の入力ルールで設定を行います。

項目名	ルール
設定名	設定セットの名称を指定します。 1文字～30文字で入力してください。
提供元不明アプリのインストール	Google Play 以外で提供されるアプリのインストールを禁止できます。 以下より選択します。 ・許可 ・禁止
開発者向けオプション	開発者モードへの変更を禁止できます。 以下より選択します。 ・許可 ・禁止
スクリーンショットの撮影	スクリーンショットの撮影を禁止できます。 以下より選択します。 ・許可 ・禁止
アカウント制限	Google アカウント、Exchange 等のアカウント追加を制限できます。 以下より選択します。 ・制限しない ・制限する
ファクトリーリセット	ユーザーによる端末の初期化を禁止できます。 以下より選択します。 ・許可 ・禁止  ※リモートワイプを行った場合、ファクトリーリセットの禁止設定有無に関わらず、端末が初期化されます。
セーフブート	セーフモードによる起動を禁止できます。 以下より選択します。 ・許可 ・禁止
ステータスバー	ステータスバーの利用を禁止し、ステータスバーで設定できる Wi-Fi や Bluetooth 等の設定変更、通知領域の操作を防ぎます。 以下より選択します。 ・有効にする ・無効にする  ※ご使用の端末が Android7.0 以降の場合、「無効にする」に設定しても、端末によっては、スクリーンロック画面に通知が表示されたときに通知領域の操作ができません。この現象は、端末の仕様に依存するため、あらかじめご了承ください。

## 5 Android Enterprise によるアプリ配信

managed Google Play store で配信するアプリを承認して、承認済のアプリを Android Enterprise で端末に配信します。

## 5.1 個別アプリケーション

Android Enterprise では、企業専用の Google Play store として、managed Google Play store があります。

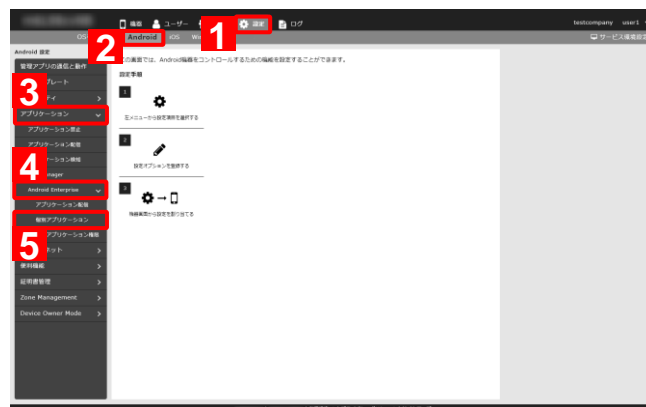
managed Google Play store は、企業で利用を許可するアプリを承認して、それを端末側の store アプリに反映させたり、アプリの配布を行います。

アプリ個別設定では、配信するアプリを個別に設定セットを作成しながら、managed Google Play store で企業で利用を許可するアプリを決定します。

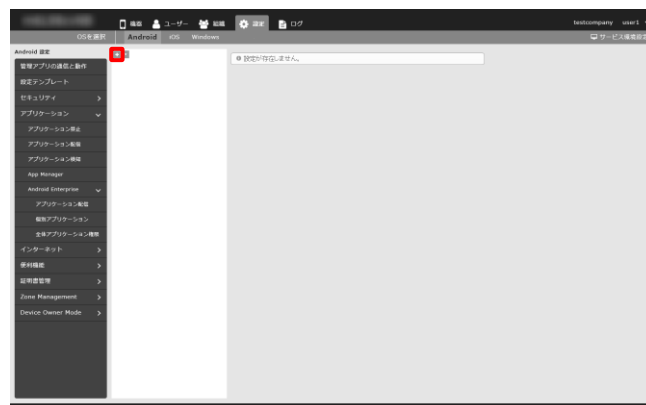
アプリ 1 つにつき、1 つの設定セットが必要です。(1 つの設定セットに複数のアプリをセットすることはできません。)

1 管理サイトのダッシュボードを表示します。

1. [設定]をクリックします。
2. [Android]をクリックします。
3. [アプリケーション]をクリックします。
4. [Android Enterprise]をクリックします。
5. [個別アプリケーション]をクリックします。



2 [新規作成]  をクリックします。



1. アプリ設定名を入力します。
2. [アプリを登録する]をクリックします。



4

Google Play 画面が表示されます。

登録したいアプリをクリックします。

※画面に表示されていないアプリは、検索(A)してください。



5

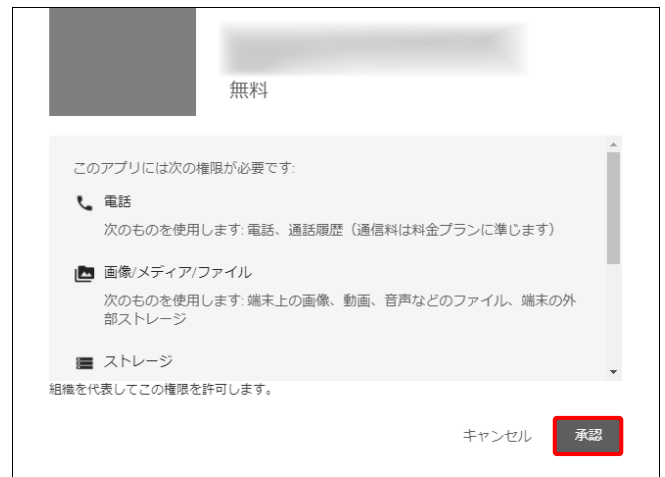
《登録したいアプリが承認済でない場合》  
[承認]をクリックします。

《登録したいアプリが承認済の場合》  
手順 8 以降の操作を行ってください。



6

権限を確認して、[承認]をクリックします。



- 7
1. 権限リクエストの処理法を選択します。
  2. [保存]をクリックします。

権限追加時の通知先を設定する場合は、[お知らせ]  
(A)をクリックしてください。

承認の設定

(A) お知らせ

アプリからの新しい権限リクエストの処理方法を選択してください。

1

- このアプリから新しい権限をリクエストされたときにアプリの承認を維持します。ユーザーは更新されたアプリをインストールできます。
- このアプリから新しい権限をリクエストされたときにアプリの承認を取り消します。アプリは再承認されるまでストアから削除されます。

キャンセル 2 保存

《権限追加時の通知先を設定する場合》

1. メールアドレスを入力して、[追加]をクリックします。
2. [保存]をクリックします。

承認の設定

お知らせ

全般的なメール通知

承認したアプリから新しい権限がリクエストされたときにメール通知を受け取ります

登録者を追加するにはメールアドレスを入力してください。

1 登録者を追加

Email Address 追加

キャンセル 2 保存

- 8
- 承認済み(A)になります。  
[選択]をクリックします。

アプリ選択

← アプリの詳細 検索

(A) 承認済み

選択 不承認 承認の設定

このアプリは一部の国でのみご利用いただけます。

2 保存

- 9
- 選択中のアプリ(A)にパッケージ名が表示されます。  
[保存]をクリックします。

新規作成

設定

設定 - 編集

アプリ設定名

アプリ選択

選択中のアプリ (A)

アプリを選択する

保存

10

必要に応じて、ランタイムパーミッション及びアプリ構成を設定します。

[編集]をクリックします。

※ランタイムパーミッションとは、カメラやアドレス帳、位置情報へのアクセス等の権限が必要となった際に、アプリ実行中に権限許可を求める仕組みです。

※アプリ構成とは、オフィスまるごとサポートデバイスマネジメント上から設定できるアプリ固有の設定値です。有無はアプリに依存します。例として、Gmail ではメールアドレスや署名等を設定値として配信することが出来ます。

11

1. ランタイムパーミッションを選択します。

《デフォルトを選択した場合》

「全体アプリケーション権限」40 ページで設定した権限が、全てに設定されます。

《個別設定を選択した場合》

パーミッション名ごとに個別に設定します。

パーミッション名ごとに許可(A)を以下より選択します。

- ・ デフォルト
- ・ 許可
- ・ 不許可

2. 必要なアプリ構成を入力します。

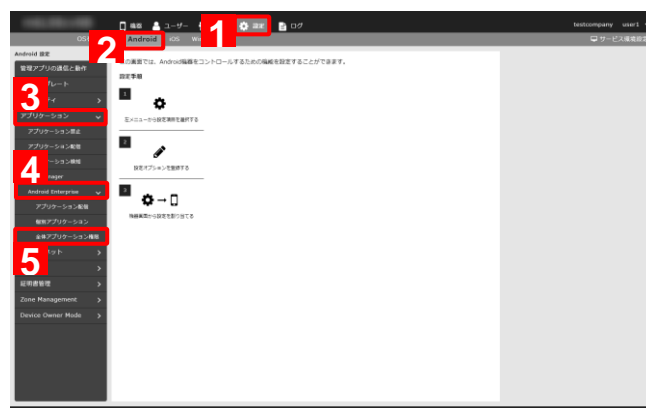
3. [保存]をクリックします。

## 5.2 全体アプリケーション権限

デフォルトのランタイムパーミッションを設定します。

「個別アプリケーション」手順 11(39 ページ)でデフォルトを選択したアプリは、ここで設定したデフォルトが反映されます。

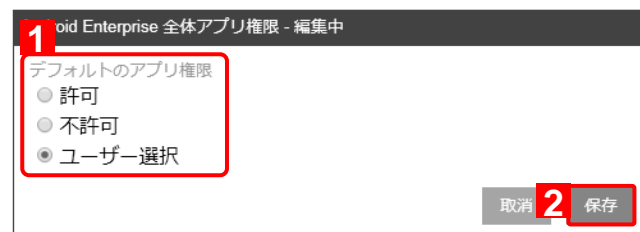
- 1 管理サイトのダッシュボードを表示します。
  1. [設定]をクリックします。
  2. [Android]をクリックします。
  3. [アプリケーション]をクリックします。
  4. [Android Enterprise]をクリックします。
  5. [全体アプリケーション権限]をクリックします。



- 2 [編集]をクリックします。



- 3
  1. デフォルトのアプリ権限を選択します。  
※端末の挙動については、「デフォルトのアプリ権限による端末の挙動」(40 ページ)を参照してください。
  2. [保存]をクリックします。



### 5.2.1 デフォルトのアプリ権限による端末の挙動

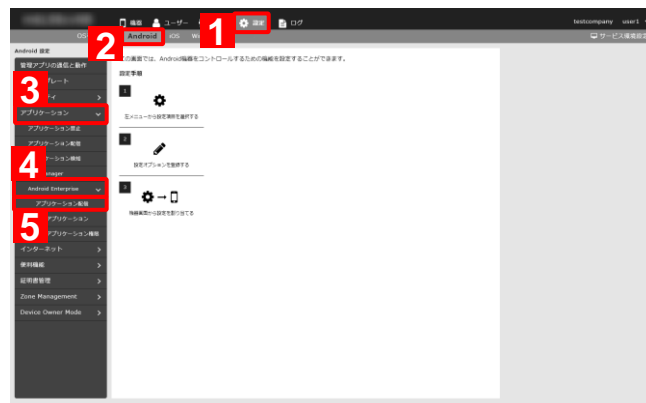
アプリの個別設定	全体アプリ権限	端末挙動
デフォルト	許可	ユーザー操作なし(権限確認なし)にアプリ利用可能。 アプリが権限を要求する契機で、ユーザー操作なし(権限確認なし)で許可される。
デフォルト	不許可	ユーザーに権限確認なく禁止される。 アプリが権限を要求する契機で、ユーザー操作なし(権限確認なし)で禁止される。
デフォルト	ユーザー選択	ユーザー自身が都度権限許可するかを選択する。
個別設定＞許可	-	ユーザー操作なし(権限確認なし)にアプリ利用可能。
個別設定＞不許可	-	ユーザーに権限確認なく禁止される。



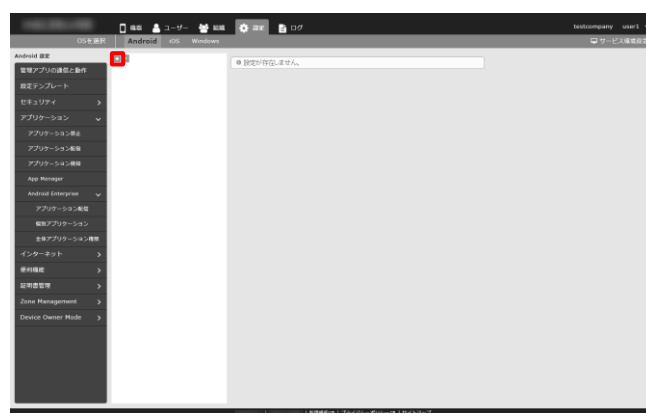
## 5.3 アプリケーション配信

Android Enterprise で配信するアプリの設定を行います。

- 1 管理サイトのダッシュボードを表示します。
1. [設定]をクリックします。
  2. [Android]をクリックします。
  3. [アプリケーション]をクリックします。
  4. [Android Enterprise]をクリックします。
  5. [アプリケーション配信]をクリックします。

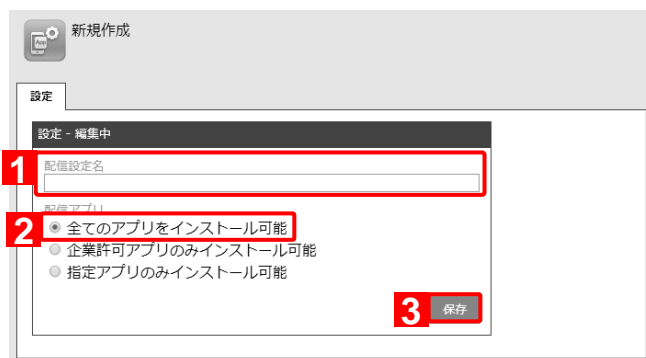


- 2 [新規作成]  をクリックします。



- 3 《全てのアプリをインストール可能の場合》  
制限はありません。managed Google Play store  
にある全てのアプリが利用可能です。

1. 配信設定名を入力します。
2. 全てのアプリをインストール可能を選択します。
3. [保存]をクリックします。



《企業許可アプリのみインストール可能の場合》  
managed Google Play store で承認済のアプリの  
みが利用可能です。(42 ページ参照)

《指定アプリのみインストール可能の場合》  
managed Google Play store で承認済、かつ「個別  
アプリケーション」(36 ページ)で設定されている  
アプリのみインストールが可能です。(43 ページ  
参照)  
強制(サイレント)インストールは、この場合のみ  
利用できます。

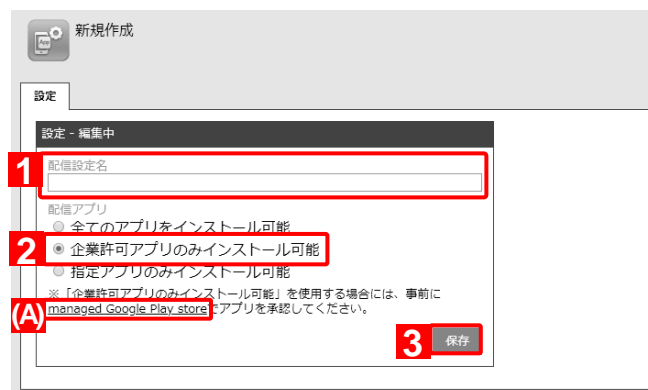
### 5.3.1 企業許可アプリのみインストール可能な場合

managed Google Play store で承認済のアプリのみが利用可能です。

1. 配信設定名を入力します。
2. 企業許可アプリのみインストール可能を選択します。

※[managed Google Play store] (A) をクリックすると、managed Google Play store に遷移します。

3. [保存]をクリックします。



- 2 [許可アプリ一覧]をクリックします



- 3 許可アプリ一覧(A)が表示されます。  
この一覧に表示されているアプリがインストール可能になります。

※許可されていないけれどインストールしたいアプリがある場合は、アプリの承認が必要です。Google Play 画面で承認したいアプリ(B)をクリックしてください。承認についての詳細は、「個別アプリケーション」の手順 5~8 を参照してください。



### 5.3.2 指定アプリのみインストール可能な場合

managed Google Play store で承認済みかつ「個別アプリケーション」(36 ページ)で設定されているアプリのみインストールが可能です。

強制(サイレント)インストールは、この場合のみ利用できます。

1

1. 配信設定名を入力します。
2. 指定アプリのみインストール可能を選択します。
3. **+** をクリックします。

新規作成

設定

設定 - 編集

1 配信設定名

配信アプリ

- 全てのアプリをインストール可能
- 企業許可アプリのみインストール可能
- 指定アプリのみインストール可能

アプリ個別設定

強制インストール

(+ボタンで追加: 300件まで)

3 +

保存

2

1. 承認済みアプリが表示されるので、配信するアプリを選択します。
2. 強制(サイレント)インストールをする場合は、するにチェックを入れます。  
※「アプリの強制(サイレント)インストール」51 ページを参照してください。
3. [保存]をクリックします。

新規作成

設定

設定 - 編集

配信設定名

配信アプリ

- 全てのアプリをインストール可能
- 企業許可アプリのみインストール可能
- 指定アプリのみインストール可能

1 アプリ個別設定

2 強制インストール

3 保存

(+ボタンで追加: 300件まで)

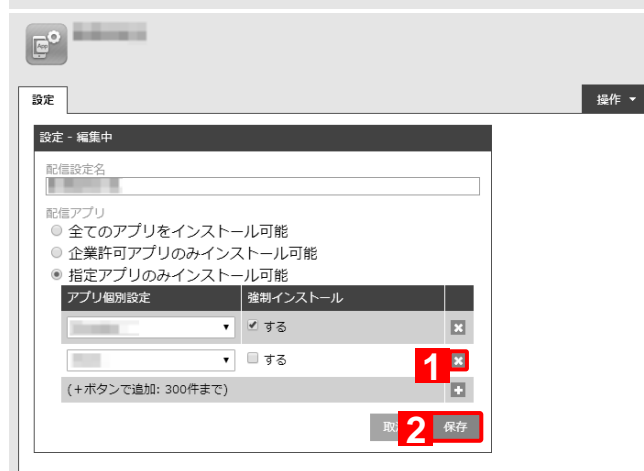
### 5.3.3 強制(サイレント)インストールしたアプリの強制(サイレント)アンインストール

「指定アプリのみインストール可能の場合」(43 ページ)の設定で、強制(サイレント)インストールしたアプリを強制(サイレント)アンインストールできます。

- 1 強制(サイレント)インストールが設定されているアプリ配信設定を選択し、[編集]をクリックします。



- 2 1. 強制(サイレント)アンインストールするアプリの ✕ をクリックします。  
2. [保存]をクリックします。



- 3 アプリ配信設定に強制(サイレント)アンインストールをするアプリを削除したら、機器に同期を行います。

※「機器に同期」48 ページを参照してください。

同期後、端末からアプリはアンインストールされ、アイコンも自動的に削除されます。



## 5.4 組織またはユーザーに割り当て

アプリの配信設定を組織またはユーザーに割り当て、機器に同期します。

※組織に割り当てた場合は、配信するユーザーを組織に紐づける必要があります。詳細は「管理サイト リファレンス マニュアル」の「ユーザー」－「一覧」－「ユーザーの作成」を参照してください。

### 5.4.1 managed Google Play Account とは

Android Enterprise のアカウントを登録(8 ページ)して、オフィスまるごとサポートデバイスマネジメント管理サイトで機器とユーザーを紐付けると、ご使用の端末に自動的に紐づくアカウントが managed Google Play Account です。この managed Google Play Account に対してアプリケーションが配信されます。

※managed Google Play Account は端末から削除することができ、またオフィスまるごとサポートデバイスマネジメント管理サイトでユーザーと機器の紐づけを変更することができますが、Google サーバー上での managed Google Play Account と端末の紐づけは解除されません。また、端末に不要なデータが残り、想定しない挙動を示す可能性もあります。

そのため、端末の使用者が変わる場合は、必ず端末の初期化と、オフィスまるごとサポートデバイスマネジメント管理サイトで機器登録情報の削除を行い、新しいユーザーを紐づけてください。

- 1 [設定]の[アカウント]をタップすると、管理アカウントという名称で表示されます。



## 5.4.2 組織に割り当てる場合

1 ダッシュボードの[組織]を選択し、対象の組織を表示して、[その他]タブの[ユーザー設定]をクリックします。



2 [編集]をクリックします。



- 3
- 以下より指定します。
    - ・(設定なし)
    - ・(所属組織に従う:設定なし)
    - ・「アプリケーション配信」(41 ページ)で設定した配信設定
  - [保存]をクリックします。

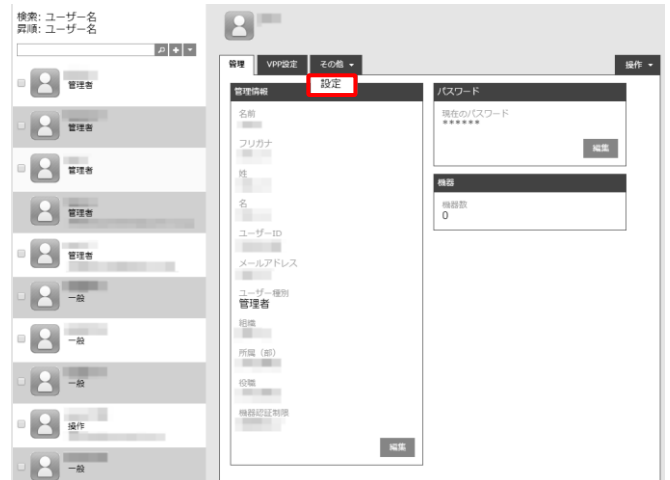


※組織に割り当てた場合は、配信するユーザーを組織に紐づける必要があります。詳細は「管理サイト リファレンス マニュアル」の「ユーザー」－「一覧」－「ユーザーの作成」を参照してください。

### 5.4.3 ユーザーに割り当てる場合

1

ダッシュボードの[ユーザー]を選択し、対象のユーザーを表示して、[その他]タブの「設定」をクリックします。



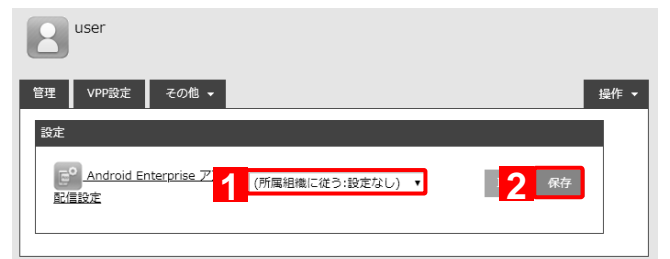
2

[編集]をクリックします。



3

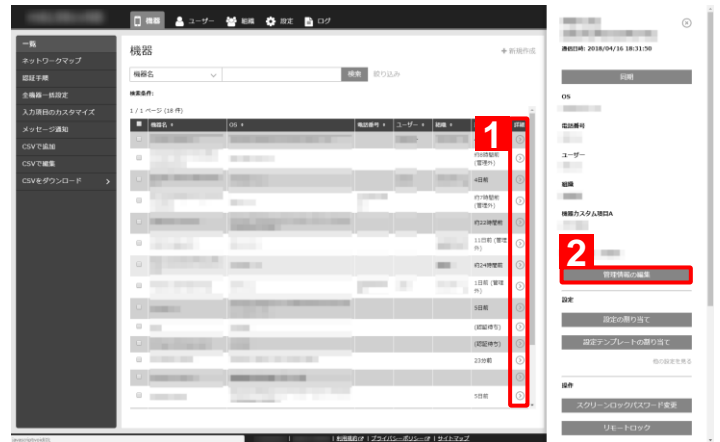
- 以下より指定します。
  - ・ (設定なし)
  - ・ (所属組織に従う:設定なし)
  - ・ 「アプリケーション配信」(41 ページ)で設定した配信設定
- [保存]をクリックします。



## 5.4.4 機器に同期

対象のユーザーを機器に同期することで、ご使用の端末に自動的に managed Google Play Account が設定されます。(45 ページ参照)

1. ダッシュボードの[機器]を選択し、対象の機器の[詳細]をクリックします。
2. 管理情報パネルの[管理情報の編集]をクリックします。



2. 1. 所属にユーザーを選択し、対象者を指定します。  
※組織を選択しないでください。
2. [保存]をクリックします。

### 管理情報

機器名

#### 1 所属

☒ ユーザー

☐ 組織

機器カスタム項目A

機器用途

#### 2

保存

取消



3

[同期]をクリックします。



通信日時: 2018/04/16 18:31:50

❗ 機器を変更しました。

同期

OS



電話番号



ユーザー



組織



機器カスタム項目A



機器用途



管理情報の編集

## 6 managed Google Play store の利用

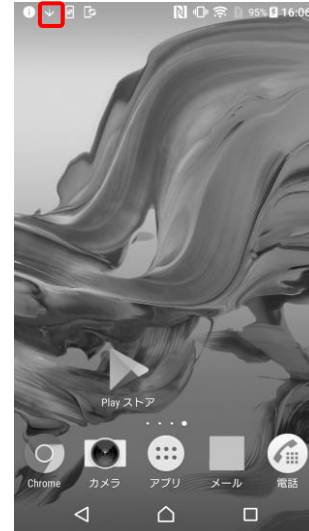
managed Google Play store では、オフィスまるごとサポートデバイスマネジメント管理サイト上の設定に基づいて表示されるアプリが制御されます。企業用 PlayStore として managed Google Play store を運用します。

## 6.1 アプリの強制(サイレント)インストール

managed Google Play store を利用することにより、アプリの強制(サイレント)インストールができます。インストールさせたい業務アプリをユーザーが操作をすることなく、管理サイトで同期することにより、ご使用の端末にアプリがインストールされます。

1 アプリケーションをインストールしていることが画面上部に表示されます。

※機種、OS によっては表示されないことがあります。

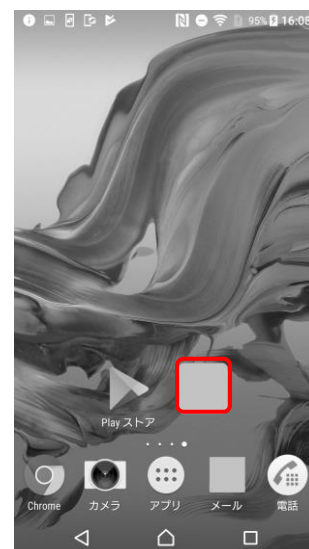


2 通知領域からインストールの状態を確認できます。

※機種、OS によっては表示されないことがあります。



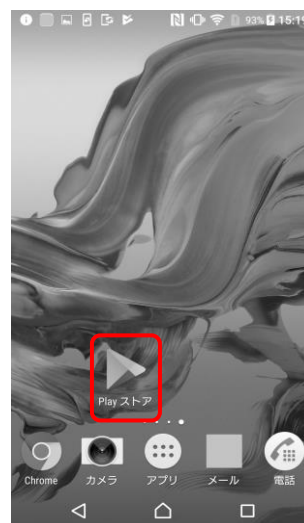
3 インストールされたアプリのアイコンが表示されます。



## 6.2 managed Google Play store の表示

エージェント端末で、managed Google Play store を表示します。

1 [Play ストア]のアイコンをタップします。



2 managed Google Play store が表示されます。  
管理サイトから配信されたアプリが表示されています。



## 7 連携アプリの利用

managed Google Play store からオフィスまるごとサポートデバイスマネジメントと連携するアプリをインストールすることができます。インストール方法は「Android Enterprise によるアプリ配信」35 ページ からを参照してください。

現在の連携アプリは以下の通りです。

各アプリの機能説明などは参照マニュアルをご覧ください。

アプリ名	参照マニュアル
モバイルウイルス対策	「Android ユーザーマニュアル」の「ウイルス対策機能を使用する」
DM Browser	「Android ユーザーマニュアル」の「DM Browser を使用する」